

衝撃で歯が抜け落ちた!どうしよう?



歯のなぜなに?



適切な保存で歯を元に戻せる確率は上がります

歯は強い衝撃(大人ではスポーツ、子どもでは、転んだ時など)で意外と簡単に抜け落ちてしまいます。

すぽっと抜け落ちてしまった場合には、抜けた**歯を適切に扱えば元に戻せる確率は高い**のです。最近はこの情報が、一般に浸透してきた為、抜け落ちた歯を持参される方が増えてきました。

しかし、抜けた歯の扱い、保存に問題があると歯の再移植はうまくいきません。歯の根元は、**歯根膜(図)**という組織があります。歯を支え、栄養を補給する繊維の束で、これが元気なうちに再移植する必要があります。

ですから

- ティッシュペーパーなどに包んで水分が吸い取られた状態
- 時間が経って乾燥
- 汚れた歯を水洗いしすぎた(30秒以上)など

の場合には、**歯根膜が乾燥、死滅してしまうため元に戻せません。**

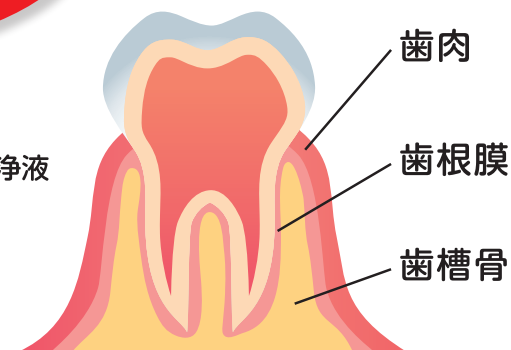


CHECK POINT!

抜けた歯の保存は!

なるべく早く歯科医院へ!

- 歯の保存液
- コンタクトレンズの洗浄液
- 牛乳(無脂肪)
- 口中(唾液中)



抜けた歯の保存には

- ①歯の保存液
- ②生理食塩水(コンタクトレンズの洗浄液でも可)
- ③牛乳(できれば無脂肪乳)
- ④口腔内(唾液中)

が適しています。抜けた歯があまり汚染されていない場合には、軽く水洗いをして歯を口腔内に戻して、すぐに歯科医院を受診するのが一番ですが、そうはいかない場合は、上記の①、②、③、のどれかを選択しなければなりません。歯の保存液では、24時間効果が持続しますが、牛乳や生理食塩水、その効果は約3~6時間と考えて、**なるべく早く歯科医院を受診する事が重要です。**